

皮膚病理診断リファレンス 第2版

安齋眞一(著), 福本隆也, 阿南 隆(執筆協力)

信州大教授・皮膚科学

奥山隆平

困ったときに支えてくれる 「顕微鏡の傍らの師匠」

皮膚病理標本を前にして、「これは一体、何の疾患だろう?」と悩んだ経験はありませんか? そんなとき、心強い味方になってくれるのが『皮膚病理診断リファレンス 第2版』です。

本書は、日本の皮膚病理学を代表する安齋眞一先生が執筆した、まさに“決定版”と呼ぶにふさわしいリファレンスブックです。初版から約5年を経て、内容・図版ともに大幅にアップデートされた本書は、診断に必要な知識と視点を余すことなく網羅し、実践的なアプローチで読者を導いてくれます。

◆パターンで整理、写真で理解

―迷わず進める診断の道しるべ

本書の大きな魅力は、皮膚病理所見のパターン分類が非常にわかりやすく整理されている点です。診断のアプローチが明確に示されており、組織像と向き合うときに「何を見て、どう考えるべきか」が自然と見えてきます。また、豊富に掲載された病理組織写真(弱拡大～強拡大)も大きな特長です。文章と写真を行き来しながら読み進められる構成は、視覚的な理解を助け、学習効果をぐっと高めてくれます。

◆著者の“コメント”ににじむ経験と温かさ

ここには、安齋先生が長年の診療と教育の中で培ってきた視点や、臨床現場での気づきが惜しみなく盛り込まれています。診断の決め手となるポイントや、よく迷いやすいところが、実践的なアドバイスとともに丁寧に解説されており、まるで隣に経験豊富な師匠がいて、そっと背中を押してくれるような心強さがあります。教科書ではなかなか

得られない「現場の知恵」が詰まったコメントは、読むたびに学びがあり、読むたびに支えられる、そんな存在です。

◆重厚なのに使いやすい。

皮膚病理を学ぶすべての人に

550ページを超える大作でありながら、情報は的確に整理されていて、何度も参照したくなる構成です。安齋先生自身も「顕微鏡のそばに置いて、かわいがってもらえたら」と語っており、日常診療のパートナーとして使い倒すのにぴったりな一冊です。

◆診断力に自信が持てるようになる一冊

『皮膚病理診断リファレンス 第2版』は、皮膚病理を専門とする医師はもちろん、研修医や診断を学ぶ全ての人にとって、頼れる「道しるべ」となる一冊です。「この本のおかげで、自信を持って診断できるようになった」—そんな声がきくと広がっていくことでしょう。

皮膚病理に真摯に向き合いたい全ての方に、この“師匠のような一冊”を心からお薦めします。そして、安齋先生の情熱が続く限り、今後も第3版、第4版と進化し続けることを期待せずにはいられません。



●A4/頁 552/2025 年
定価：24,200 円
(本体 22,000 円+税 10%)
[ISBN978-4-260-05980-0]
医学書院 刊